

# 大田区の中小企業の 新分野進出・海外展開を支援する

大田区の中小企業に、その高い技術力を生かして欧州に事業展開してもらいたいと、(公財)大田区産業振興協会と都産技研がタッグを組んで支援活動を開始しました。現状と目指す将来の姿についてお話を伺いました。



東京都の城南地域における中小企業の支援拠点として、課題解決のためのサービスをワンストップで提供している「大田区産業プラザPiO(ピオ)」のこの施設には、(一社)大田工業連合会、(一社)大田観光協会、大田区商店街連合会といった区内の産業関係団体のほか、融資の相談に応じる大田区融資相談窓口、東京商工会議所大田支部、(公財)東京都中小企業振興公社に加え、保証人となって融資を補助する東京信用保証協会、特許や実用新案の相談に応じる東京都知的財産総合センターなどが入居しています。

これらの団体に加えて、経営面のサポートを行う(公財)大田区産業振興協会(以下、振興協会)、技術面でのサポートを行う都産技研城南支所も同じ「PiO」内に入居しており、大田区の中小企業事業者のさまざまなニーズに対応しています。一つの建物内で産業に関わる大部分の事業相談が受けられる施設は全国的にも珍しく、全国各地の自治体に加え、アジア各国や欧米などの団体も視察に訪れています。

## 技術と経営の両面から 中小企業をサポート

**上本** この建物内には、産業支援という同じ目的を持つさまざまな団体が入居しています。とはいえ、最初からうまく連携できたわけではなく、当初、振興協会とは、互いの展示会や施設公開に顔を出す程度でした。しかし、振興協会が主催する展示会において都産技研が出展や講演を行うようになり、ここ数年は海外展開を計画している企業の同行調査

を一緒に行うなど、相互連携が活発になってきています。

**伊東** 大田区内の中小企業は大手企業の下請けとして基盤部品を製造してきました。最盛期の昭和58年には9,130社もの製造企業が大田区内にありましたが、直近では3,500社程にまで減少しています。創業者が高齢になり引退したケースもありますが、大きく影響したのは大手企業の生産ラインの海外移転です。大田区の中小企業が持つ優れたものづくりの技術を再活性化するためには、新分野への参入が不可欠です。都産技研との連携を通じた技術的な支援により、効率的に新市場開拓に取り組むことができると期待しています。

## 大田区の基盤技術を航空・宇宙産業や医療・福祉機器分野へ展開

**上本** 中小企業が付加価値の高いものづくりを将来にわたって継続していくためには、需要があり、利益が見込める新分野への参入が必要です。私たちは、参入分野を航空・宇宙産業や医療・福祉機器産業と定め、支援活動を始めています。具体例としては、航空機の内装品や装備品、医療機器のペースメーカー・ステントなどの体内埋め込み器具などがあります。航空機で使用される部品の多くは、認証取得や生産体制の整備などが求められ、中小企業が新規に参入する際の大きな負担になっています。医療機器も、日本では4つのクラスごとの認証制となっており、医療機関での臨床試験も不可欠です。両産業分野で用いられる機器は、使用されているそ



## 伊東 博巳

公益財団法人  
大田区産業振興協会  
専務理事



## 上本 道久

城南支所長



の大半が海外製のため、国内企業にはぜひ進出していただきたい分野です。このような背景から、昨年12月に新設した「先端計測加工ラボ」には、「航空機産業支援」、「医工連携産業支援」をキーワードに、6種類の試験機器を導入しました。

**伊東** 航空・宇宙産業や医療・福祉機器分野への進出にあたって必要な実験、計測、加工支援を都産技研に担当していただいています。

今、振興協会では、タイにある大田区の中小企業向け賃貸集合工場「オオタテクノ・パーク」に続いて、上本支所長に同行いただいたスイス・ヴォー州とも協力関係を結び、現地の産業支援施設「Y-PARC(ワイ・パーク)」内の創業支援施設を一定期間、相互に無償利用できるようにしています。そこを利用し活動している企業の中には、欧州の大学や技術移転機関に働きかけて事業に結びつけようとするところも出てきています。米国ボーイング社の新型機ボーイング787機の窓に装着する部材を独自開発した区内企業もあり、そういった事例をアピールして後に続く企業が多く出て来てほしいと考えています。

**上本** 大田区の中小企業が持つものづくりの基盤技術を、どのようにして航空・宇宙産業や医療・福祉機器分野

に生かしていくかは、今後模索していかなければならない課題です。

スイスで虫眼鏡を作っていた町工場が、そのレンズ製造技術を医療や軍事用の航空機関連部材として応用した例もあります。このように欧州には中小企業の技術をきちんと対価で認めてくれる土壤があります。

大田区の中小企業には、この海外展開支援の取り組みを活用し、下請けではなく、ものづくり(技術)で欧州へ事業展開して、グローバルニッチ分野でトップ企業となる“Hidden Champion(隠れたチャンピオン)”を目指してもらいたいと考えています。

### 新分野に参入するために 技術の転用先を模索

**伊東** 航空・宇宙産業や医療・福祉機器分野に進出といっても、ほとんどの

中小企業が自社の技術を他分野で生かせるものだとは気づいていないかもしれません。セミナーを通じた啓発活動のほか、数社共同で大田区パビリオンとして海外の展示会に出展していただき、海外での販路開拓の支援などを行っています。その過程において、技術支援をはじめ標準規格などについて都産技研に相談し、アドバイスをいただくことを期待しています。今後もワンストップ支援を行い、多くの成功事例を生み出していきたいと考えています。

**上本** そのためには、テクニカルな部分が重要になります。企業ニーズに対応しながら、振興協会とポイントで連携するのではなく、プロセスを共有して併走しながら連携していく必要があると思います。それを実践していくことで、成功事例につなげたいと考えています。



切削工具の刃ものを模した先鋭的な外観の大田区産業プラザPiO



京急蒲田駅から見える看板が目印です

## 第8回大田区加工技術展示商談会

(公財)大田区産業振興協会が主催する大田区加工技術展示商談会は、大田区企業の優れた「加工技術」が集まる展示商談会です。都産技研もブースを設け、先端計測加工ラボをご紹介します。

日時 平成27年7月3日(金) 10:00~17:00

場所 大田区産業プラザPiO 1階大展示ホール

入場料 無料

7/3  
(金)  
開催